資料③－１

重点プロジェクトについて(ヒアリングと審議員、えこっち・やす意見一覧)

①	岸本委員	1月29日審議会	昔はプロジェクトがたくさんあって、徐々に成立、収斂し、第２次の後半になると、定常状態に入ったような印象がある。第３次では市民への普及が必要と思う。
②	岸本委員	1月29日審議会	現状の社会情勢からするとこれだけ課題があるなかで、この10年間、重点プロジェクトとしては、施策として粛々とやる項目と、ここは本当に力入れてやるというようなところで、メリハリをつけてやることをした方が、いいように感じる。
③	平岡委員	1月29日審議会	当事者意識を持ってもらうためには、作る過程にしっかりとコミットできる議論に参加できるということが大事なんじゃないかと思う。
④	平岡委員	意見シート	先に計画全体のことを議論し、検討し、その中で特に重要になると思われる課題・テーマ等を抽出し、重点プロジェクトを検討していくのが適切なのではないのか。
⑤	佐藤委員	1月29日審議会	第１次はプロジェクト創出期というような感じだったと思う。それで10年間経ち第2次を作るとなった時に、その24個のプロジェクトが12個になった。それはおそらく10年間やっていて、できなくなってしまったものもあれば、集約されたものや、あるいは形を変えたもの、いろいろあったと思うが、結果的に半分になり、第2次の10年間が続いていたという状況だ。そう考えると、創出から収斂というか、成熟というか、そういう段階でプロジェクトをしてきたと思う。そういう10年があって、じゃあ次に何をしなければということを考えていかないといけないと思う。
⑥	佐藤委員	意見シート	基本目標の５軸にプロジェクトを再カテゴライズするのは良いが、目標も経緯も異なるプロジェクトを無理にまとめて５つにするのはよくない(それぞれの内容がよく分からなくなってしまう)。一緒にできるもの、一緒にした方が相乗効果が生まれるものはまとめて、それ以外はそのままにしてはどうだろうか。また、それよりも、10年に1度の見直しの機会であるので、これまで活動されてきた市民らと成果と課題を共有するとともに、新たなプロジェクトを創出することこそ重要ではないか。
⑦	杉田委員	1月29日審議会	５つの基本目標から施策が横に展開していった着地点が重点プロジェクトだと思う。

えこっち・やす運営委員の意見

⑧	えこっち・やす運営委員	ヒアリングシート及び運営委員会	・重点プロジェクトの統廃合は仕方ないと思う。 ・現状の多くの重点プロジェクトの実現は困難であるため、数を絞って明確化して進める方向で良いと思う。 ・えこっち・やすの活動のみが重点プロジェクトなのか。重点プロジェクトの実施団体に、えこっちのみを記載するのはやめてほしい。 ・「重点プロジェクト」という言葉の定義が、そもそも「協働で行うもの」と今回の第３次計画で、野洲市で定義されるならば、それで良いのではないか。 ・計画策定も大切であるが、どのように進めていくかが大切。次回審議会では、その観点でも議論いただきたい。なによりも、後継者など活動する人を増やすことが最優先事項と考える。行政も事業者などと連携を取りながら実施いただきたい。